

行政視察報告書 in 可児市・小牧市

平成 30 年 11 月 6 日

貝塚市議会議長 田畑 庄司 殿

自由市民 田中 学
食野 雅由
(議長) 田畑 庄司

第 1 日 平成 30 年 11 月 1 日(木) 岐阜県可児市 主権者教育について

今回の視察は、自由市民 3 名と新政クラブ 4 名と公明党議員団 2 名の三会派計 9 名で行いました。午後 2 時前に可児市役所に到着。澤野伸市議会議長、伊藤壽副議長、山根一男議員からご説明を受けました。

可児市は市議会の活性化を図るため、議会改革を始められました。議員の資質向上のための大学との連携。議論充実のため一般質問は大項目ごとに一括質問とし、再質問から一問一答式を選択できるようにしました。また反問権を与え、本会議・委員会で自由討議ができるように規定。議場にモニターを設置し、パソコン等を活用した一般質問が出来るようにされました。正副議長選挙は立候補制を導入し、立候補者による所信表明演説を実施し、単記無記名投票で行われています。議会改革のため市民アンケート調査を実施され、市民意識の現状を把握されました。結果は、“議会の活動を知らない”が 64%、“市民の声を反映している”が僅か 6%で、厳しい現状であることがわかりました。打開のため、議会の見える化の推進、更なる情報公開の徹底、議会だよりを軸としたわかりやすい広報の展開、市民の意見を聴く意見交換会の充実を推進されました。具体には、予算決算審査や本会議・常任委員会に際し、議会報告会や地域課題懇談会及び各種団体との懇談会を開催し、意見を聴取し反映させて、議会と市民の意思疎通を図っているそうです。小学生による子ども議会、高校生議会の開催及び模擬投票（2年に1度）などの若い世代との交流や、ママさん議会など、議場をフルに活用されています。市民と議会の垣根を取り払う取組みは素晴らしいと感じました。貝塚市議会も検討すべきだと思いました。



澤野伸市議会議長



視察の様子

第2日 平成30年11月2日(金) 愛知県小牧市 地域ブランド戦略について

午前10時前に小牧市役所に到着。秘書政策課市政戦略係 安藤係長からの説明がありました。全国的な課題である少子高齢化や人口減少問題に対応するために、問題解決の柱として、地域ブランド戦略を活用することが目的であったそうです。初めに小牧市のイメージの調査を経て、地域ブランドコンセプトを位置づけられました。その1として歴史上の人物である織田信長、豊臣秀吉、徳川家康が関わった史跡の小牧山をシンボルとして活用していくこと。その2として子育てしやすいまちと定め、子ども夢・チャレンジNo.1都市を位置づけられました。これを基にブランドブック・えほん版ブランドブックを作成し、アクションプランを策定し、ブランドコンセプトの実現を目指していったそうです。平成24年度から職員アンケート。平成25年度は市政モニターアンケートの実施、ロゴマーク・キャッチフレーズの決定。平成26年度は地域ブランド戦略推進委員会と地域ブランド戦略アクションプラン検討PTの発足。平成27年度は、ブランドムービーの制作・シネアド上映の実施、ブランドWEBサイト開設、地域ブランド研修会の開催。平成28年度は、市内循環バスや公用車へのロゴマーク添付、都市宣言看板の設置。取組みを重ね、小牧市のイメージアップを図り、定住促進や子育て支援に繋げていくのが狙いであると感じました。



玉井宰市議会議長



説明をする安藤係長

貝塚市で約20年前に実施した貝塚コスモスアイデンティティと、時代の違いがあるものの、コンセプトや手法は全くといっていいほど同じであると思いました。貝塚市のほうが先進的に取り組んでいたのではと感じました。その後質疑応答と意見交換をして視察を修了しました。